

平成 25 年度
学 科 学 生 募 集 要 項
入 学 案 内

推 薦	出 願 期 間	平成 25 年 1 月 8 日 (火) ~ 1 月 11 日 (金)
	面 接 日	平成 25 年 1 月 19 日 (土)
	合 格 者 発 表	平成 25 年 1 月 30 日 (水) 午前 10 時
	入 学 手 続	平成 25 年 1 月 30 日 (水) ~ 2 月 8 日 (金)
学 力	出 願 期 間	平成 25 年 2 月 1 日 (金) ~ 2 月 8 日 (金)
	検 査 日	平成 25 年 2 月 24 日 (日)
	合 格 者 発 表	平成 25 年 3 月 8 日 (金) 午前 10 時
	入 学 手 続	平成 25 年 3 月 8 日 (金) ~ 3 月 19 日 (火) 正午

独立行政法人 国立高等専門学校機構
鈴鹿工業高等専門学校

〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町

電 話 059-368-1739

F A X 059-368-1738

ホームページ [http:// www.suzuka-ct.ac.jp](http://www.suzuka-ct.ac.jp)

目 次

入学案内

1. 鈴鹿高専について -----	1
(1) 鈴鹿高専の歴史 -----	1
(2) 教育理念 -----	1
(3) 世界水準を保証する技術者教育プログラムの推進 -----	1
2. アドミッション・ポリシー（学科入学者受入方針） -----	2
(1) 求める入学志願者像 -----	2
(2) 入学者選抜方針 -----	2
3. 修業年限及び学科卒業生の称号 -----	2
4. 学科紹介 -----	2
5. 教育課程 -----	3
6. 授業担当教員 -----	6
7. 卒業後の進路 -----	7
8. 学生支援制度等 -----	9
(1) 課外・クラブ活動 -----	9
(2) 学生寮 -----	9
(3) 学生支援室 -----	9
(4) 奨学制度 -----	9
(5) 入学料・授業料免除制度 -----	9
9. 入学時に必要な経費（予定額） -----	10
10. 日本学生支援機構から奨学金予約採用のお知らせ -----	11

平成25年度学科学生募集要項

I. 募集人員 -----	12
II. 選抜の方法 -----	12
III. 推薦による入学者の選抜 -----	12
1. 募集人員 -----	12
2. 中学校からの推薦者数 -----	12
3. 出願資格 -----	12
4. 入学願書受付 -----	13
5. 出願手続 -----	13
6. 選抜の実施方法 -----	13
7. 合格者発表 -----	14
8. 入学手続 -----	14
9. 推薦による選抜で不合格となった者の学力検査受験について -----	14
IV. 学力検査による入学者の選抜 -----	15
1. 出願資格 -----	15
2. 入学願書受付 -----	15
3. 出願手続 -----	15
4. 選抜の実施方法 -----	16
5. 合格者発表 -----	17
6. 入学手続 -----	17
V. 出願上の留意事項 -----	17
VI. 学力検査による入学者選抜を受験した者の入試成績の開示について -----	18
VII. 個人情報の取扱いについて -----	19
VIII. 入試情報の提供について -----	19
IX. 検査場の位置図及び交通案内 -----	19

入 学 案 内

1. 鈴鹿高専について

(1) 鈴鹿高専の歴史

昭和 37 年(1962 年) 4 月に、我が国の工業を支える優れたエンジニアを育成するため、中学校卒業後の 5 年間で大学の学部と同水準の専門教育をめざす国立の高等教育機関として設立されたのが高等専門学校です。

現在、国公立合合わせ 57 校設置されていますが、鈴鹿工業高等専門学校（以下「鈴鹿高専」という。）は制度創設と同時に、機械工学科、電気工学科（現電気電子工学科）、工業化学科（現生物応用化学科）の 3 学科体制で出発しました。その後金属工学科（現材料工学科）と電子情報工学科が増設され、これまでに 7,400 人以上の卒業生が巣立ちました。そして、技術者や研究者あるいは企業経営者として社会で活躍し、教育界や産業界の方々から高い評価を受けています。

また平成 5 年には、科学技術の進展と本格的な国際化時代の到来に対応するため、学科 5 年間の教育課程を卒業後さらに 2 年間の高度な専門教育を実施する「専攻科」を設置し、国際社会で活躍できる人材の育成に努めています。

平成 16 年 4 月には技術者教育の新天地をめざして、独立行政法人「国立高等専門学校機構」が設置する国立高専の 1 つとして組織改変がなされるとともに、平成 18 年 3 月には大学評価・学位授与機構の認証評価を受け、高等専門学校評価基準を満たしていると認定されました。

本校は今年度創立 50 周年を迎えました。今後ますます社会に認められる学校として発展できるよう努力を続けます。

(2) 教育理念

今日、科学技術の高度化と国際化の到来により、技術者教育を担う高等教育機関には新たな展開が求められています。そのため、鈴鹿高専では建学の精神を範とした、次のような教育理念を定め、「世界に羽ばたく創造的なエンジニア」の育成を目指しています。

- ① 広い視野から価値判断ができ、技術者精神を備えた豊かな人間性を涵養します。
- ② 科学技術に関する高い専門知識と技術に基づく深い洞察力と実践力を育成します。
- ③ 未知の問題に果敢に挑み、新たな価値を創造する力を育てます。
- ④ 心身を鍛え、己を確立し、自ら未来を切り拓く力を育てます。

(3) 世界水準を保証する技術者教育プログラムの推進

鈴鹿高専では、学科 4、5 学年と専攻科 1、2 年次の計 4 年間で学習する技術者教育プログラム（「複合型生産システム工学」プログラム）を推進しています。この教育プログラムは、平成 15 年度から日本技術者教育認定機構（JABEE）の正式認定を受け、社会が求める水準と質を十分満たしているとの評価を得ています。入学者は、4 学年になれば自動的にこのプログラムの履修生となります。

2. アドミッション・ポリシー（学科入学者受入方針）

（1）求める入学志願者像

- ・自然科学に興味をもち、将来の科学技術の発展に夢を抱く人
- ・自らの向上をめざして継続的に自己学習ができる人
- ・何事にも積極的に挑戦する意思と意欲のある人

（2）入学者選抜方針

本校では、「世界に羽ばたく創造的エンジニア」の育成を目的とし、その高い可能性を持った学生の選抜を基本とします。

入学者の選抜は、多様な人材を選抜するため、推薦による選抜と学力による選抜を行います。

推薦選抜においては、中学校における成績を評価するとともに、自然科学や科学技術に対する興味、工学を学ぶ意欲、生徒会活動・課外活動・ボランティア活動などの経験を通して育まれたコミュニケーション能力やリーダーシップ能力などを、面接結果を含め総合的に評価し、知徳体にバランスのとれた学生を選抜します。

学力選抜においては、実践的・創造的技術者教育に必要な一般科目と専門科目を十分理解できる学生を選抜するため、その基礎となる学力の試験を行い、合計点を評価して選抜します。

3. 修業年限及び学科卒業生の称号

修業年限は5年で、学科卒業生は「準学士(工学)」と称することが認められます。

4. 学科紹介

・機械工学科

機械工学の基礎理論とその応用に重点を置きながら、種々の工学の基礎について学びます。実験・実習では、メカトロニクス・ロボット工学・CAD/CAMなどコンピュータ応用技術に関する内容も取り入れ、機械工学に関する幅広い知識・技術を習得します。

・電気電子工学科

電力供給や鉄道などの社会インフラからデジタルカメラなど様々な電気電子製品の設計・生産をはじめ、機械・化学・食品・医薬品などの幅広い生産の場面やIT産業で活躍している電気電子技術者を育成しています。本学科は第2種電気主任技術者の認定対象学科となっています。

・電子情報工学科

コンピュータはスマートフォンから自動車、航空機、人工衛星などにも組み込まれ、現代社会に欠かせません。電子情報工学科では、電子技術、情報技術、ネットワーク技術、それらの融合技術を使い社会を豊かにする「ソフトウェアのわかる電子技術者」、「ハードウェアのわかる情報技術者」を育成します。

・生物応用化学科

工業化学を学ぶ「応用化学コース」とバイオテクノロジーを学ぶ「生物化学コース」があります。両コース共にファインケミカルズ、合成繊維、医薬、化粧品などに関する知識や技術を学ぶほか最新の化学理論や環境保全技術についても学びます。

・材料工学科

材料の進歩がなければエレクトロニクス、エネルギー、航空・宇宙などの最先端技術の発展はありません。あらゆる分野の基礎となる金属、セラミックス、プラスチック、電子材料などいろいろな材料に関することを学ぶほか、最新の先端材料や材料のリサイクルについても学びます。

5. 教育課程

1、2学年で受ける授業科目は、各学科に共通する一般科目（数学、物理、化学、国語、英語など）と学科別専門基礎科目（実験・実習も含む。）から構成されています。一般科目は社会人や技術者として必要となる基礎的知識と幅広い視野を養い、専門基礎科目は技術者としての第一歩を踏み出すための科目です。

3学年から本格的な専門教育に入っていきます。各分野の理論や技術を学ぶとともに、知識を応用する力、結果を評価し判断する力などを養います。特に4、5学年においては、ものづくりや技術開発の場で新しい価値を生み出す能力を育てるために、より高度な工学実験、創造工学、卒業研究などの重要科目が配置してあります。

なお、本校では「英語によるコミュニケーション能力」を育てる教育にも力を入れており、ネイティブ・スピーカーによる小人数授業や TOEIC（国際的に通用する英語運用能力検定試験。TOEIC IP テストを含む。）等を活用し、学習支援を行っています。

教育課程表（平成25年度予定）

《全学科共通 一般科目》

学年	区分	授業科目	備考	
1年	必修	国語ⅠA		
		国語ⅠB		
		世界史Ⅰ		
		地理		
		基礎数学A		
		基礎数学B		
		物理		
		化学		
		英語ⅠA		
		英語ⅠB		
	保健体育(武道を含む)			
	選択	美術	同時開講 どれか一つを 選択	
		音楽		
書道				
2年	必修	国語Ⅱ		
		世界史Ⅱ		
		政治・経済		
		倫理・社会		
		線形代数Ⅰ		
		微分積分Ⅰ		
		物理		
		化学		
		生物		
		英語ⅡA		
	英語ⅡB			
	保健体育			
	3年	必修	日本文学	
線形代数Ⅱ				
微分積分Ⅱ				
数学講究				
英語Ⅲ				
英語特講Ⅰ				
英語特講Ⅱ				
保健体育				
必修			言語表現学Ⅰ	同時開講 どれか一つを 選択
			歴史学概論Ⅰ	
		技術者倫理入門Ⅰ		
4年		選択必修	言語表現学Ⅱ	同時開講 どれか一つを 選択
			歴史学概論Ⅱ	
	技術者倫理入門Ⅱ			
	法学Ⅰ			
	物理学特講			
	現代科学Ⅰ		同時開講 どれか一つを 選択	
	現代科学Ⅲ			
	現代科学Ⅳ			
	現代科学Ⅴ			
	化学特講			
	現代科学Ⅰ	同時開講 どれか一つを 選択		
	現代科学Ⅱ			
	現代科学Ⅲ			
現代科学Ⅳ				
選択	英語ⅣA	同時開講 どちらかを 選択		
	英語ⅣB			
	文学概論Ⅰ	同時開講 どれか一つを 選択		
	心理学Ⅰ			
	経済学Ⅰ			
	哲学Ⅰ			
	文学概論Ⅱ	同時開講 どれか一つを 選択		
心理学Ⅱ				
経済学Ⅱ				
哲学Ⅱ				
数学特講Ⅰ				
数学特講Ⅱ				
5年	選択	英語Ⅴ		
		実用英語Ⅰ	同時開講 どれか一つを 選択	
		社会学Ⅰ		
		中国語Ⅰ		
		実用英語Ⅱ	同時開講 どれか一つを 選択	

《専門科目》

機械工学科

電気電子工学科

学年	区分	授業科目	区分	授業科目
1年	必修	機械工学序論	必修	電気電子工学序論
		機械工作実習	必修	情報処理Ⅰ
		情報処理Ⅰ	必修	ものづくり実習
		機械設計製図	必修	創造工学演習
	選択	創造工学演習	選択	
2年	必修	機械工作法	必修	電気電子製図
		機械工作実習	必修	情報処理Ⅱ
		情報処理Ⅱ	必修	電気回路
		機械設計製図	必修	電気電子工学演習
	選択	創造工学演習	選択	電気電子工学実験
3年	必修	応用数学Ⅰ	必修	応用物理Ⅰ
		応用物理Ⅰ		電気磁気学
		総合実習		電気回路
		機械工学演習Ⅰ		電気電子計測
		メカトロニクス		電子回路
		材料力学Ⅰ		電子回路設計
		熱・流体工学基礎		電子物性基礎
		機械運動学		電子制御基礎
		機械設計製図		電気機器
		機械加工学		電気電子工学演習
	情報処理応用	電気電子工学実験		
	選択	電気工学概論	選択	プログラミング言語
	創造工学演習	選択	創造工学演習	
4年	必修	応用数学Ⅱ	必修	応用数学Ⅰ
		応用物理Ⅱ		応用物理Ⅱ
		創造工学		電気磁気学
		機械工学演習Ⅱ		電気回路
		材料力学Ⅱ		電子回路
		熱力学		デジタル回路
		水力学		電気電子材料
		機械設計法		半導体工学
		機械力学		制御システム
		材料学Ⅰ		電気機器
	機械設計製図	創造工学		
	工学実験	電気電子工学実験		
	選択	創造工学演習	選択	電気電子工学演習
インターンシップ	選択	電気法規		
5年	必修	応用数学Ⅲ	必修	応用数学Ⅱ
		計算機援用工学		デジタル回路
		材料学Ⅱ		電気電子材料
		機械設計製図		計算機システム
		工学実験		電力システム工学
		卒業研究		情報通信工学
		熱工学		電気電子工学実験
		流体工学		卒業研究
		生産システム		高電圧工学
		塑性加工学		パワーエレクトロニクス
	制御工学	電気エネルギー-応用Ⅰ		
	電子回路	電気エネルギー-応用Ⅱ		
	ロボット工学	電気電子応用		
工業英語	電子デバイス工学			
計測工学	創造工学演習			
弾性学	インターンシップ			
創造工学演習				
インターンシップ				

《専門科目》

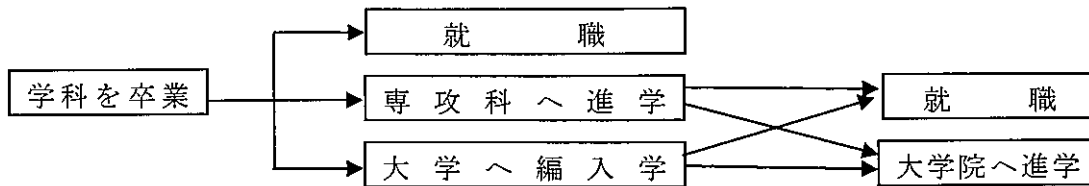
電子情報工学科			生物応用化学学科			材料工学科		
学年	区分	授業科目	区分	授業科目	区分	授業科目		
1年	必修	電子情報工学序論	必修	情報処理Ⅰ	必修	情報処理Ⅰ		
		プログラミング基礎		生物応用化学序論		材料工学序論		
		情報処理Ⅰ		生物応用化学実験		設計製図Ⅰ		
		電子情報工学実験				材料工学実験		
	選択	創造工学演習	選択	創造工学演習	選択	創造工学演習		
2年	必修	マイクロコンピュータ基礎	必修	情報処理Ⅱ	必修	情報処理Ⅱ		
		電気電子基礎		有機化学		機械工作法		
		プログラム設計		分析化学		基礎材料学		
		電子情報工学実験		生物応用化学実験		設計製図Ⅱ		
	選択	創造工学演習	選択	創造工学演習	選択	ものづくり実習		
						材料工学実験		
						創造工学演習		
3年	必修	応用物理Ⅰ	必修	応用物理Ⅰ	必修	応用物理Ⅰ		
		デジタル回路		無機化学		材料組織学		
		オペレーティングシステム		有機化学		材料強度学		
		データ構造とアルゴリズム		物理化学Ⅰ		熱力学		
		電子機器学		機器分析化学		無機化学		
		電子工学		生物化学		有機化学		
		電気磁気学		微生物学Ⅰ		設計製図Ⅲ		
		電気回路論		細胞生物学		材料工学実験		
		電子回路		化学工学Ⅰ		電気工学基礎Ⅰ		
		電子情報工学実験		生物応用化学実験		創造工学演習		
		選択	工業英語	選択				
		創造工学演習						
4年	必修	応用物理Ⅱ	必修	(応用化学コース)		必修	応用数学Ⅰ	
		電気磁気学		応用数学Ⅰ	応用数学Ⅰ			
		電気回路論		応用物理Ⅱ	応用物理Ⅱ			
		電子回路		情報処理応用	情報処理応用			
		応用数学Ⅰ		無機化学	無機化学			
		ソフトウェア工学		物理化学Ⅰ	物理化学Ⅰ			
		計算機アーキテクチャ		物理化学Ⅱ	物理化学Ⅱ			
		情報通信ネットワーク		化学工学Ⅰ	化学工学Ⅰ			
		基礎制御工学		反応工学Ⅰ	反応工学Ⅰ			
		創造工学		創造工学	創造工学			
	情報理論Ⅰ	生物応用化学実験	生物応用化学実験					
	電子情報工学実験	高分子化学	微生物学Ⅱ					
		反応工学Ⅱ	細胞工学					
		化学工学Ⅱ	生物化学工学					
			分子生物学					
			環境分析化学					
			創造工学演習					
			インターンシップ					
		※	精密合成化学	※				
		選択	環境分析化学	選択				
		創造工学演習						
		インターンシップ						
5年	必修	電子材料工学	必修	有機工業化学	必修	情報処理応用		
		卒業研究		化学設計製図		材料プロセス工学		
		情報理論Ⅱ		卒業研究		材料機器分析		
		計算機工学		化学工学Ⅱ		生産工学		
	選択必修	情報数学	生物化学コース実験	生物化学コース実験	機能材料			
		電子計測	触媒化学	タンパク質化学	高分子機能材料			
		光電子工学	電気化学	生物情報工学	半導体工学			
		集積回路工学	無機工業化学	遺伝子工学	量子力学			
	選択	数値解析	機能材料工学	生体材料工学	電気化学			
		応用数学Ⅱ	応用数学Ⅱ	界面化学	鋳造工学			
		画像処理工学	界面化学	生物機能工学	塑性加工			
		人工知能	生物機能工学	環境工学	複合材料			
		電子制御工学	環境工学	創造工学演習	材料工学実験			
		創造工学演習	創造工学演習	インターンシップ	卒業研究			
	インターンシップ			応用数学Ⅱ				
				材料環境科学				
				工業英語				
				材料設計学				
				設計製図Ⅴ				
				機械工学基礎Ⅱ				
				創造工学演習				
				インターンシップ				

※ 選択必修

6. 授業担当教員（平成24年度）

		職名	学位	氏名	主な担当授業科目	職名	学位	氏名	主な担当授業科目		
人文社会	理学	教授	修士	奥 貞 二	倫理社会、哲学	教授	博士	田村 陽次郎	物理、応用物理		
		教授	修士	小倉 正昭	世界史、歴史学概論	准教授	修士	山崎 賢二	化学、化学特講		
		教授	修士	西岡 将美	国語	准教授	博士	仲本 朝基	物理、応用物理		
		准教授	修士	久留原 昌宏	国語、日本文学	講師	博士	丹波 之宏	物理、生物		
	教養教育科	数学	准教授	修士	伊藤 清	微分積分、基礎数学	講師	博士	三浦 陽子	物理、応用物理	
			准教授	博士	堀江 太郎	微分積分、基礎数学	体育・武道	教授	学士	細野 信幸	武道、保健体育
			准教授	修士	川本 正治	微分積分、基礎数学	准教授	学士	船越 一彦	保健体育	
			准教授	博士	大貫 洋介	微分積分、基礎数学	助教	修士	森 誠護	保健体育	
			講師	博士	藤原 雅史	微分積分、基礎数学	教授	修士	出口 芳孝	英語	
			助教	博士	豊田 哲	微分積分、基礎数学	教授	学士	中井 洋生	英語	
		外国語					准教授	修士	林 浩士	英語	
							准教授	Ph.D.	Michael E. Lawson	英語	
							准教授	修士	日下 隆司	英語	
							講師	修士	松尾 江津子	英語	
			機械工学科	教授	博士	埜 克己	材料力学、弾性学	准教授	博士	白井 達也	情報処理応用、ロボット工学
				教授	博士	佐 聡 豊	熱力学、塑性加工学	講師	博士	白木原 香織	機械運動学、機械設計法
教授	博士	末次 正寛		材料力学、計算機応用工学	講師	博士	打田 正樹	メカトロニクス、制御工学			
教授	博士	近藤 邦和		水力学、流体工学	助教	博士	鬼頭 みずき	流体工学、応用数学			
准教授	博士	民 秋 実		機械力学、機械設計製図	助教	博士	南部 統一郎	機械加工学、機械設計製図			
准教授	博士	藤松 孝裕		熱工学、熱・流体工学基礎	嘱託教授	学士	富岡 巧	機械工作法、機械加工学			
電気電子工学科	教授	博士		北村 登	電気回路、電気機器	准教授	博士	辻 琢人	半導体工学、高電圧工学		
	教授	博士		花井 孝明	電気機器、電気磁気学	准教授	博士	西村 一寛	電気回路、電気電子計測		
	教授	博士		近藤 一之	電子回路、デジタル回路	講師	学士	奥野 正明	電気電子工学序論 電気電子製図		
	教授	修士		奥田 一雄	電気回路制御システム	講師	博士	柴垣 寛治	電気電子材料 電子物性基礎		
	教授	博士	大津 孝佳	電気磁気学、電力システム工学	助教	博士	山田 伊智子	電気エネルギー応用 ものづくり実習			
	教授	博士	川口 雅司	プログラミング言語、 計算機システム							
電子情報工学科	教授	博士	桑原 裕史	電子計測、デジタル回路	准教授	博士	瀧美 清隆	情報処理			
	教授	博士	井 瀬 潔	電気磁気学、集積回路工学	准教授	博士	笑浦 弘人	オペレーティングシステム ソフトウェア工学			
	教授	博士	柴田 勝久	電子機器学、電子制御工学	准教授	博士	青山 俊弘	プログラム設計 画像処理工学			
	教授	博士	伊藤 明	電子工学、電気回路論	講師	修士	平野 武範	計算機アーキテクチャ 計算機工学			
	准教授	修士	長嶋 孝好	応用数学、情報数学	講師	博士	森 育子	電気回路論、電気電子基礎			
	准教授	博士	田添 丈博	情報通信ネットワーク データ構造とアルゴリズム	助教	博士	浦尾 彰	電子回路、人工知能			
生物応用化学科	教授	博士	生 貝 初	微生物学Ⅱ 有機化学	講師	博士	平井 信充	物理化学Ⅰ、電気化学			
	教授	博士	澤田 善秋	化学工学Ⅱ、化学設計製図	講師	博士	山口 雅裕	分子生物学、細胞工学			
	教授	博士	長原 滋	有機化学、精密合成化学	講師	博士	淀谷 真也	高分子化学、機能材料工学			
	教授	博士	下野 晃	無機化学、無機工業化学	講師	博士	小川 亜希子	生物化学、生物化学工学			
	准教授	博士	船越 邦夫	化学工学Ⅰ・Ⅱ、反応工学Ⅰ・Ⅱ	助教	博士	甲斐 徳高	分析化学、環境工学			
	准教授	博士	山本 智代	機器分析化学、環境分析化学	嘱託教授	博士	内藤 幸雄	生物機能工学			
	准教授	博士	高倉 克人	物理化学Ⅱ、有機化学							
材料工学科	教授	博士	井上 哲雄	非鉄金属材料、材料強度学	准教授	博士	南部 智憲	材料評価法 コンピュータ応用			
	教授	博士	宗内 篤夫	材料環境科学、材料熱力学	准教授	博士	和田 憲幸	無機化学、固体物性			
	教授	博士	江崎 尚和	基礎材料学、結晶解析学	准教授	博士	黒田 大介	材料力学、設計製図			
	教授	博士	小林 達正	材料組織学、半導体工学	講師	博士	万谷 義和	塑性加工、鑄造工学			
	教授	博士	兼松 秀行	材料プロセス工学 電気化学	助教	博士	幸後 健	機能材料、無機材料			
	教授	博士	下古谷 博司	有機化学、有機材料							

7. 卒業後の進路



卒業後の進路には、大きく分けて就職と進学の二つの道があります。最近では、卒業生のうち就職と進学がほぼ半数ずつとなっています。就職希望者に対して過去3年間の求人倍率は約20倍(平成23年度の求人倍率は約16倍)で、就職希望者全員の就職が実現しています。また、進学希望者のうち約25名が本校専攻科へ入学し、その他のほとんどは国立大学3年次へ編入学しています。

過去3年間の進路状況

	就職 [人]	進 学 [人]				
		専攻科	国立大	公立大	私立大	
23年度	119	89	24	64	0	1
22年度	100	100	37	59	1	3
21年度	88	89	27	58	2	2

各科の最近の主な就職先

機械工学科		生物応用化学科	
旭化成(株)	日本車輛製造(株)	旭化成(株)	東レ(株)
出光興産(株)	日本たばこ産業(株)	AGF鈴鹿(株)	東洋インキSCホールディングス(株)
関西電力(株)	ブラザー工業(株)	関東化学(株)	日東電工(株)
キャノン(株)	本田技研工業(株)	クノール食品(株)	日本アエロジル(株)
JSR(株)	パナソニック(株)	ダイキン工業(株)	日本ニューマチック工業(株)
武田薬品工業(株)	ミズノテクニクス(株)	大日本住友製薬(株)	パナソニック(株)
ダイキン工業(株)	三田工業(株)	第一工業製薬(株)	富士紡ホールディングス(株)
中部電力(株)	三菱化学エンジニアリング(株)	中京油脂(株)	三菱ガス化学(株)
東海旅客鉄道(株)(JR東海)	三菱重工業(株)	東ソー(株)	Meiji Seika ファルマ(株)
東邦ガス(株)	ユニバーサル造船(株)	(株)東ソー分析センター	ロート製薬(株)
電気電子工学科		材料工学科	
アイシン精機(株)	(株)東芝	アイシン精機(株)	西日本旅客鉄道(株)(JR西日本)
オークマ(株)	東ソー(株)	旭化成(株)	日清紡メカトロニクス(株)
(株)NTTファシリティーズ	ドコモエンジニアリング東海(株)	NTN(株)	日本精工(株)
京セラ(株)	日東電工(株)	小島プレス工業(株)	日本たばこ産業(株)
キャノン(株)	日本車輛製造(株)	昭和四日市石油(株)	パナソニック
JSR(株)	パナソニック(株)	新日本製鐵(株)	デバイスマテリアル四日市(株)
昭和四日市石油(株)	富士電機(株)	(株)大同キャスティングス	富士ダイス(株)
ダイキン工業(株)	本田技研工業(株)	中部電力(株)	本田技研工業(株)
中部電力(株)	三菱電機ビルテクノサービス(株)	東邦ガス(株)	ミズノテクニクス(株)
東海旅客鉄道(株)(JR東海)	矢崎総業(株)	東レ(株)	三菱化学エンジニアリング(株)
			三菱ガス化学(株)
電子情報工学科			
アイシン精機(株)	トヨタテクニカルディベロプメント(株)		
(株)NTTデータ	(株)ニコン		
(株)NTTネオメイト	西日本電信電話(株)(NTT西日本)		
関西電力(株)	パナソニック(株)		
京セラ(株)	AVCネットワークス社		
中部電力(株)	(株)日立製作所		
デンソーテクノ(株)	富士重工業(株)		
東海旅客鉄道(株)(JR東海)	鈴鹿富士ゼロックス(株)		
東邦ガス(株)	富士通(株)		
(株)トヨタコミュニケーションシステム	ブラザー工業(株)		
	本田技研工業(株)		

最近の大学編入学等合格者数（延べ人数）

大学等名	年度別合格者数			
	21	22	23	3年間計
鈴鹿高専専攻科	53	62	46	161
鳥羽商船専攻科		1		1
北海道大学（工）	1			1
弘前大学（理工）			1	1
東北大学（工）			2	2
東北大学（理）	1			1
筑波大学（理工）	1	2		3
筑波大学（情報）	6	3	1	10
筑波大学（生命環境）	1		1	2
群馬大学（工）		1	1	2
千葉大学（工）		4	2	6
東京大学（工）		1		1
東京農工大学（工）	1	2	7	10
東京工業大学（工）			1	1
東京工業大学（生命理工）	1		1	2
電気通信大学（電気通信）		1		1
横浜国立大学（工）	1	1		2
新潟大学（理）			1	1
新潟大学（農）		1		1
新潟大学（経済）	1			1
長岡技術科学大学（工）	2	1	2	5
富山大学（工）			1	1
金沢大学（理工）	2	1	1	4
福井大学（工）	1	4		5
信州大学（繊維）	1	1	2	4
信州大学（農）		1		1
岐阜大学（工）	13	6	9	28
岐阜大学（応用生物）	1			1
静岡大学（工）	1		1	2
静岡大学（農）			1	1

大学等名	年度別合格者数			
	21	22	23	3年間計
静岡大学（情報）	1			1
名古屋大学（工）	2	4	2	8
名古屋工業大学（工）	8	11	13	32
豊橋技術科学大学（工）	19	22	12	53
三重大学（工）	11	13	14	38
三重大学（生物資源）	3	1		4
三重大学（人文）		1		1
京都工芸繊維大学（工芸）	2	4	2	8
大阪大学（工）	1	2	2	5
大阪大学（基礎工）	2	1	1	4
神戸大学（工）		1	1	2
奈良女子大学（理）	2	2	2	6
和歌山大学（システム工）	1	1		2
岡山大学（工）			1	1
広島大学（工）	1			1
広島大学（生物生産）		1		1
山口大学（工）			1	1
徳島大学（工）			1	1
愛媛大学（工）		1		1
九州大学（芸術工）			1	1
九州工業大学（工）			1	1
首都大学東京（都市教養）			1	1
首都大学東京（システムデザイン）			1	1
福井県立大学（海洋生物資源）		1		1
名古屋市立大学（人文社会）	1			1
大阪府立大学（工）	1	1		2
立命館大学（理工）	2	1	1	4
豊田工業大学（工）		1		1
尚美学園大学（芸術情報）		1		1
合計（延べ人数）	145	163	138	446

8. 学生支援制度等

(1) 課外・クラブ活動

課外活動やクラブ活動は、学生の心身を鍛え、人間の幅を広げてくれる効果があります。鈴鹿高専では、教育理念に沿ってこれらの活動に対する支援に努めています。学生自身が運営する「学生会」のもとに、18の体育系クラブ、8の文化系クラブの他、12の同好会があり、高専体育大会や高校総体（1～3年）、吹奏楽コンクールや英語プレゼンテーションコンテストなどで毎年優秀な成績を収めています。高専ならではの、創造活動を支援するプロジェクトにも力を入れており、高専ロボコン、ソーラーカーレース、プログラミングコンテストなど、技術的なアイデアと実現力を競う催しにも多くの学生が取り組んでおり、実績をあげています。

(2) 学生寮

学校敷地内に、学生のための寮である「青峰寮」（低学年男子寮、高学年男子寮、女子寮、留学生・専攻科生寮）があり、入寮を希望する学生は、選考を経て入寮することができます。寮は自宅が遠い、勉学やクラブ活動に励みたい、社会性を身につけたいなど様々な理由を持つ学生の支援制度として大切な役割を果たしています。現在約390名（うち女子学生約80名、留学生15名）の学生が、規則正しい共同生活を行いながら、勉学や課外活動に取り組んでいます。また寮祭などの行事を楽しみ、一生つき合える友人を得て、社会へ巣立っていきます。

(3) 学生支援室

学生支援室では、学生のキャンパスライフを支援するために、学生生活の中で生じる様々な相談ごとや悩みごと（健康・学習・進路・部活動、また交友関係や家庭問題等に関すること）に耳を傾け、また、問題解決するための学生相談員（本校教職員）や学外カウンセラーが配置されています。

(4) 奨学制度

平成16年4月に設立された独立行政法人 日本学生支援機構の規定に基づき、学業・人物ともに優れた者で経済的理由により就学困難な者には、本人の申請に基づき選考のうえ、無利子で奨学金が貸与されます。（11頁に日本学生支援機構からの案内を掲載しています。）その他、地方公共団体や民間育英団体による奨学金もあります。

(5) 入学料・授業料免除制度

・入学料免除

学資を主として負担している方が入学前1年以内に死亡し、または風水害を受けた場合など特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められる場合は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の全額もしくは半額を免除することがあります。

・授業料免除

平成22年度から公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金に関する法律が施行されましたので、第1学年から第3学年は「授業料免除制度」に代わり「高等学校等就学支援金」制度により行われます。

第4学年から第5学年は、経済的事由により授業料の納付が困難で、かつ、学業優秀と認められる学生に対し、本人の申請に基づき選考のうえ、授業料の全額もしくは半額を免除し、またはその徴収を猶予することがあります。

9. 入学時に必要な経費（予定額）

学校納入金

項目	金額（円）	備 考
入学料	84,600	
授業料	117,300	年額 234,600 円の前期分 後期分は 10 月に納入 在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。
合 計	201,900	

* 授業料は、在籍 36 ヶ月の期間について申請により就学支援金（年額 118,800 円）の交付がありますので、その分については減額されます。

入学時に必要なその他の経費

項目	金額（円）	備 考
旅行等積立金	27,000	後期分は 10 月に納入 (金額は変更することがあります。)
新入生合宿研修費	12,000	入学時のみ納入
学生会費	10,200	入会金及び 1 年分会費
教育後援会費	29,200	入会金及び前期分会費 後期分は 10 月に納入
傷害共済会費	500	1 年分
日本スポーツ振興センター会費	1,520	1 年分
合 計	80,420	

* 上記の他に制服・教科書・教材費等約 150,000 円(学科によって異なります。)が必要です。

入寮生経費

項目	金額（円）	備 考
寄宿料	4,200	月額 700 円の前期 6 ヶ月分 後期分は 10 月に納入
入寮費	4,000	入寮時のみ納入
生活費	32,050	年額 64,100 円の前期分 後期分は 10 月に納入 光熱水費、消耗品費等
合 計	40,250	

* 別途食費 月平均約 20,000 円が必要です。生活費は諸物価高騰等の理由により改定される場合があります。

10. 日本学生支援機構から奨学金予約採用のお知らせ

平成24年4月

高等専門学校奨学金を希望する皆さんへ

[予約採用]

第一種奨学金（無利子）

日本学生支援機構では、高等専門学校に進学後、奨学金を希望する人を対象に、進学前に予約採用候補者の募集をしています。

申込資格及び申込時期等は下記のとおりです。

記

1. 申込資格

中学校、中等教育学校の前期課程並びに特別支援学校の中等部（以下「中学校」という。）の第3学年に在学し、平成25年4月に高等専門学校へ進学する希望を持っている者で、特に優れた資質を有し、経済的理由により著しく修学困難な者。

2. 募集時期

10月～11月

3. 申込手続

- (1) 現在通っている中学校を通じ、申込書類一式（申込案内、申込書等）を「日本学生支援機構」に請求してください。
- (2) 申込案内に従って必要書類を調べ、現在通っている中学校に提出してください。

4. 申込から奨学金振込まで

- (1) 中学校長の推薦を受け、選考の結果「奨学生採用候補者」として決定します。
※申込者が全て候補者となるわけではありません。
- (2) 高等専門学校へ進学後、所定の手続を経て、奨学金の振込が開始されます。

5. 貸与月額

進学後、毎月貸与される額は次表のとおりです。（平成24年度現在）

区分	自宅通学	自宅外通学	自宅・自宅外共通
国公立	21,000円	22,500円	10,000円
私立	32,000円	35,000円	

※注1 お問い合わせ及び申込手続は全て、現在通っている中学校を通じて行ってください。

- 2 この申込によって、高等学校での奨学金を受給することはできません。
(各都道府県で行っている、高等学校奨学金の予約採用とは異なるものです。)

平成25年度学科学生募集要項

I. 募集人員

学科別の募集人員は、下表のとおりです。

学 科	入 学 定 員
機 械 工 学 科	40 名
電 気 電 子 工 学 科	40 名
電 子 情 報 工 学 科	40 名
生 物 応 用 化 学 科	40 名
材 料 工 学 科	40 名
計	200 名

II. 選抜の方法

入学者の選抜は、「推薦によるもの」と「学力検査によるもの」の二つの方法で行います。

III. 推薦による入学者の選抜

1. 募集人員

推薦選抜による募集人員は各学科とも18名程度とします。

2. 中学校からの推薦者数

制限は設けません。

3. 出願資格

平成25年3月中学校を卒業見込みの者で、次の要件を満たし、在籍中学校長が責任をもって推薦できる者

- (1) 本校入学の意思が強固である者
- (2) 志望学科に対して適性を有し、志望の動機が適切である者
- (3) 品行方正で他の模範となる者
- (4) 中学校3年間における9教科の5段階評価の合計（内申点）が、110（5段階評価の平均約4.1）以上である者

4. 入学願書受付

期 間	平成25年1月8日（火）から平成25年1月11日（金）まで。 郵送の場合も1月11日（金）までに必着のこと。
時 間	午前9時から午後4時30分まで。
場 所	〒510-0294 鈴鹿市白子町 鈴鹿工業高等専門学校 学生課 入試係

5. 出願手続

入学志願者は、本校所定の「振込依頼票」に必要事項を記入し、**入学検定料16,500円**を添えて最寄りの銀行から本校指定の送り先（振込依頼票に記載）へ電信扱いで振り込んでください。（現金自動預払機（ATM）による振込は不可。）

振込期間は平成24年12月3日（月）～平成25年1月11日（金）

振込後、払込証明書を入学願書の裏面に貼り付け、下記の書類を在籍中学校長を経て提出してください。

郵送する場合は、添付の封筒を使用して必ず書留郵便で送ってください。

提出書類	摘 要
入 学 願 書	本校所定の用紙（推薦選抜用）に、必要事項を記入したもの。入学願書の裏面に検定料の払込証明書が貼付してないものは無効です。 写真票に貼る写真は、最近3か月以内に撮影した上半身・正面・脱帽・無背景（縦4cm×横3cm）のものとしします。
写 真 票	
受 験 票	
調 査 書	本校所定の用紙（推薦選抜用）に、在籍中学校長が必要事項を記載したもの。
推 薦 書	本校所定の用紙に、在籍中学校長が必要事項を記載したもの。
返信用封筒 （願書を直接持参する場合は不要）	受験票を送付するためのものです。添付の封筒に本人の住所・氏名及び郵便番号を明記して650円分の切手（速達、簡易書留郵便料を含む。）を貼ったもの。
あて名シール	合格通知等を受けるためのものです。住所・氏名・郵便番号を記入してください。

6. 選抜の実施方法

選抜は、在籍中学校長から提出された調査書の「各教科の学習の記録（必修教科の評定）」の合計（内申点）、「特別活動等の記録（生徒会活動、部活動等）」を評価した点（特別活動点）及び面接の結果（面接点）を総合して行います。面接では、アドミッション・ポリシーにそって適性、意欲、人物を評価します。

内申点は135点満点、特別活動点と面接点は合わせて135点満点とし、合計270点満点で評価します。

面接の日時・検査場

期 日	平成25年1月19日(土)
時 間	指定する時間(後日中学校長あてに通知します。)
検 査 場	鈴鹿工業高等専門学校

7. 合格者発表

平成25年1月30日(水)午前10時

本校内に合格者の受験番号を掲示します。また、遅くとも同日中に在籍中学校長及び本人あて選抜結果の通知書を発送します。

当日、午前10時30分以降に本校ホームページに合格者の受験番号を掲載します。ホームページアドレス <http://www.suzuka-ct.ac.jp/success.htm>

電話等による可否の問い合わせは、ご遠慮願います。

8. 入学手続

入学手続期間は、次のとおりです。

平成25年1月30日(水)午後1時から

平成25年2月8日(金)午後4時30分まで

*土・日曜日は除きます。

(入学手続きの詳細は、合格通知送付の際にお知らせします。)

9. 推薦による選抜で不合格となった者の学力検査受験について

推薦による入学者の選抜の結果、不合格となった場合、あらかじめ入学願書の「学力検査受験希望の有無」欄の「有」に○印を付けた者は、出願書類の再提出及び検定料の再納付をすることなく、学力検査を受験することができます。(学力検査受験用の受験票は、推薦選抜の際に使用した受験票を使用しますので、学力検査当日は当該受験票を持参してください。)

学力検査受験を希望する場合は、「推薦選抜入学願書」提出時に、

- ① 学力検査による選抜の志望学科(推薦選抜の志望学科と異なってもかまいません。)
- ② 学力検査を受験する検査場
- ③ 学力検査による選抜で合格した場合の入学意思

を必ず記入してください。

項目③については、入学願書に、合格した場合の入学意思について次のA、Bから選択し、必ずいずれかに○印を付けてください。A、Bいずれに○印を付けても可否には関係ありません。なお、補欠の対象者はAだけとします。

A 鈴鹿高専を第1希望とし、合格したら必ず入学する。

B 合格しても入学するとは限らない。

IV. 学力検査による入学者の選抜

1. 出願資格

- (1) 中学校を卒業した者（平成25年3月卒業見込みの者を含む。）
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者（平成25年3月修了見込みの者を含む。）
- (3) その他相当年齢に達し、本校が中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者（学校教育法施行規則第95条各号の一に該当する者）

2. 入学願書受付

期 間	平成25年2月1日（金）から平成25年2月8日（金）まで。 郵送の場合も2月8日（金）までに必着のこと。
時 間	午前9時から午後4時30分まで。 ただし、土・日曜及び祝日は受付をしません。
場 所	〒510-0294 鈴鹿市白子町 鈴鹿工業高等専門学校 学生課 入試係

3. 出願手続

(1) 出 願 書 類

入学志願者は、本校所定の「振込依頼票」に必要事項を記入し、**入学検定料16,500円**を添えて最寄りの銀行から本校指定の送り先（振込依頼票に記載）へ電信扱いで振り込んでください。（現金自動預払機（ATM）による振込は不可。）

振込期間は平成24年12月3日（月）～平成25年2月8日（金）

振込後、払込証明書を入学願書の裏面に貼り付け、下記の書類を在籍（出身）中学校長を経て提出してください。

郵送する場合は、添付の封筒を使用して必ず書留郵便で送ってください。

提出書類	摘 要
入学願書 写 真 票 受 験 票	本校所定の用紙（学力選抜用）に、必要事項を記入したもの。 入学願書の裏面に検定料の払込証明書が貼付してないものは無効です。 写真票に貼る写真は、最近3か月以内に撮影した上半身・正面・脱帽・無背景（縦4cm×横3cm）のものとしします。
調 査 書	本校所定の用紙（学力選抜用）に、在籍（出身）中学校長が必要事項を記載したもの。
志 願 者 意 思 確 認 書	本校所定の用紙に、志願者（本人）および保護者名で必要事項を記載したもの。
返 信 用 封 筒 (願書を直接持参する場合は不要)	受験票を送付するためのものです。添付の封筒に本人の住所・氏名及び郵便番号を明記して650円分の切手（速達、簡易書留郵便料を含む。）を貼ったもの。
あて名シール	合格通知等を受けるためのものです。住所・氏名・郵便番号を記入してください。

(2) 入学意思の確認について

志願者意思確認書に、合格した場合の入学意思について、次のA、Bから選択し、必ずいずれかに○印を付けてください。A、Bいずれに○印を付けても合否には関係ありません。なお、補欠の対象者はAだけとします。

A 鈴鹿高専を第1希望とし、合格したら必ず入学する。

B 合格しても入学するとは限らない。

(3) 志望学科について

入学願書及びその他の提出書類に、志望学科を記入してください。出願後の志望学科の変更は認めません。

(4) 第2志望学科について

出願期間終了後、第2志望学科として選択できる学科がある場合には、選択できる学科を平成25年2月13日（水）までに本校ホームページに掲載します。

ホームページアドレス [http:// www.suzuka-ct.ac.jp/application.htm](http://www.suzuka-ct.ac.jp/application.htm)

なお、第2志望学科として選択できる学科がある場合、希望する第2志望学科の確認は学力検査当日の筆記試験終了後に行います。

4. 選抜の実施方法

選抜は、学力検査（理科、英語、数学、国語、社会）の結果で行います。学力検査では、各教科100点満点、5教科計500点満点で評価します。合格ライン上で学力検査による評価点が同点となる者が出た場合は、在籍（出身）中学校長から提出された調査書の優劣で合格者を決定します。

(1) 学 力 検 査

学力検査は筆記試験とし、出題する教科は、理科、英語、数学、国語及び社会の5教科です。

(2) 検 査 日 時

期 日	教 科	時 間
平成25年 2月24日（日）	理 科	9時30分 ～ 10時20分
	英 語	10時40分 ～ 11時30分
	数 学	11時50分 ～ 12時40分
	国 語	13時30分 ～ 14時20分
	社 会	14時40分 ～ 15時30分

(3) 検 査 場

検査場は、下記の4か所です。希望する検査場を選んでください。

- ① 鈴鹿工業高等専門学校 (三重県鈴鹿市白子町)
- ② 伊賀上野交流研修センター (三重県伊賀市三田986-1)
- ③ 甲賀市共同福祉施設(サトピア水口内) (滋賀県甲賀市水口町北内貴1-2)
- ④ 鳥羽商船高等専門学校 (三重県鳥羽市池上町1-1)

5. 合格者発表

平成25年3月8日（金）午前10時

本校内に合格者の受験番号を掲示します。また、遅くとも同日中に本人あてに合格通知書又は補欠通知書を発送するとともに、中学校長あてには合格者及び補欠対象者の受験番号一覧を発送します。

当日、午前10時30分以降に本校ホームページに合格者の受験番号を掲載します。ホームページアドレス [http:// www.suzuka-ct.ac.jp/success.htm](http://www.suzuka-ct.ac.jp/success.htm)

電話による合否の問い合わせは、ご遠慮願います。

6. 入学手続

入学手続期間は、次のとおりです。

平成25年3月8日（金）午後1時から

平成25年3月19日（火）正午まで

*土・日曜日は除きます。

(入学手続きの詳細は、合格通知送付の際にお知らせします。)

V. 出願上の留意事項

- 1 受験票は、入学願書を受理したのち本人あてに交付または郵送します。
この受験票は検査当日必ず持参してください。
- 2 出願書類を受理した後の検定料は、理由を問わず返還できません。
- 3 出願書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- 4 身体に障害を有する志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする方は、出願に先立ち（推薦による選抜の場合は平成24年12月14日まで、学力検査による選抜の場合は平成25年1月11日まで）、本校学生課入試係まで申し出てください。
- 5 募集要項及び入学試験に関し疑問がある場合は、下記にお問い合わせください。

問合せ先

鈴鹿工業高等専門学校 学生課 入試係

〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町

電話 (059) 368-1739 (学生課入試係直通)

FAX (059) 368-1738 (学 生 課)

VI. 学力検査による入学者選抜を受験した者の入試成績の開示について

本校では、受験者が希望する場合、下記により入試成績の開示を行います。
推薦による選抜は、この制度による開示の対象となりませんので注意してください。

1. 申請者

学力検査による入学者選抜の受験者本人に限ります。(代理人による申請は認めません。)

2. 開示内容

- (1) 学力検査の科目別得点
- (2) 総得点
- (3) 志望学科における順位

3. 申請期間

平成25年3月11日(月)から4月26日(金)までとします。

(土曜日、日曜日及び祝日を除き、9時から12時まで; 13時から16時まで)

4. 申請に必要な書類

① 鈴鹿工業高等専門学校入試成績開示申請書

(注) 入試成績開示申請書は、本校ホームページから印刷することができます。

② 本校受験票及び本人確認できるもの(学生証等)

③ 返信用封筒(開示通知書送付用。郵送による開示請求の場合のみ。)

(注) 長型3号の封筒に、本人の郵便番号・住所(入学願書に記載されている住所に限る。)・氏名を明記の上、380円分の切手を貼ってください。

5. 申請方法

開示を請求する受験者本人が来校し、本校の受験票(コピーは不可)及び本人確認できるもの(学生証等)を提示し、学生課の窓口で申請してください。

遠隔地に居住する等の理由で本人が来校することができない場合は、郵便でも受け付けますので入試成績開示申請書、本校の受験票(コピーは不可)及び本人確認できるもの(学生証等のコピー)を同封してください。(4月26日(金)消印有効。)

6. 開示の方法

本人が来校し窓口で申請した場合には、原則として申請した日に窓口で閲覧の形で開示します。ただし、申請者が多数の場合は、当日のうちに閲覧できないことがあります。

郵便により申請した場合には、提出された返信封筒を使用し郵送により開示します。

(1週間程度日数がかかる場合があります。)

7. 問合せ先

〒510-0294

鈴鹿市白子町

鈴鹿工業高等専門学校 学生課 入試係

電話 059-368-1739

Ⅶ. 個人情報の取扱いについて

本校では、入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

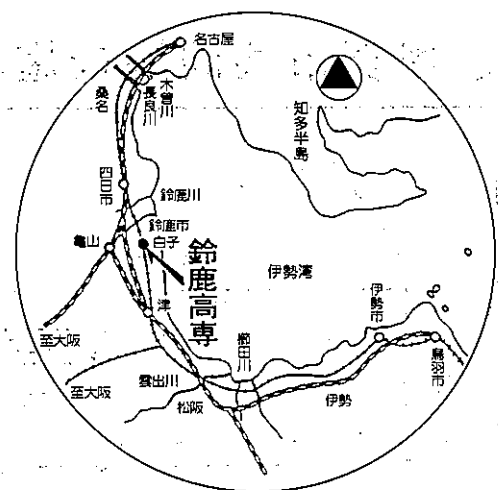
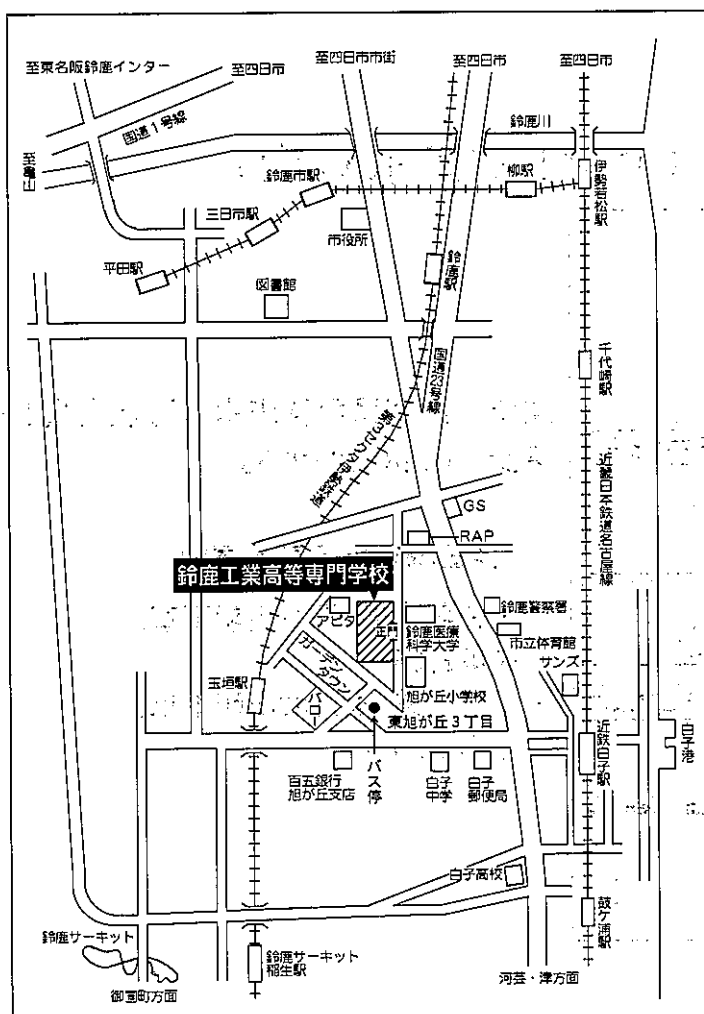
- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

Ⅷ. 入試情報の提供について

本校では、推薦及び学力による入学者選抜の願書受付期間中、適時入学願書の受付状況をホームページでお知らせします。

Ⅸ. 検査場の位置図及び交通案内

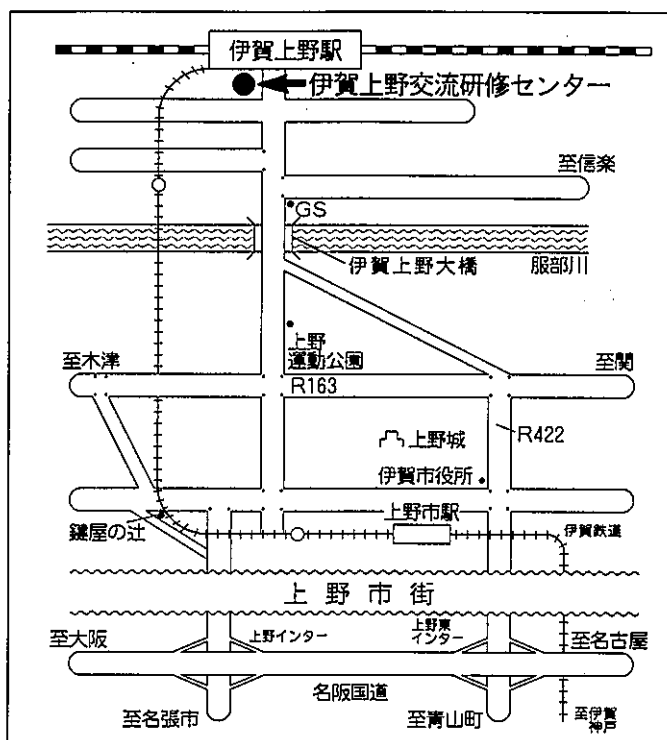
◎鈴鹿工業高等専門学校



検査場までの交通案内

- ・近鉄名古屋線白子駅下車、三重交通バス白子駅西口から平田町行又は鈴鹿サーキット行に乗車約10分、東旭が丘3丁目下車、徒歩約10分

◎伊賀上野交流研修センター

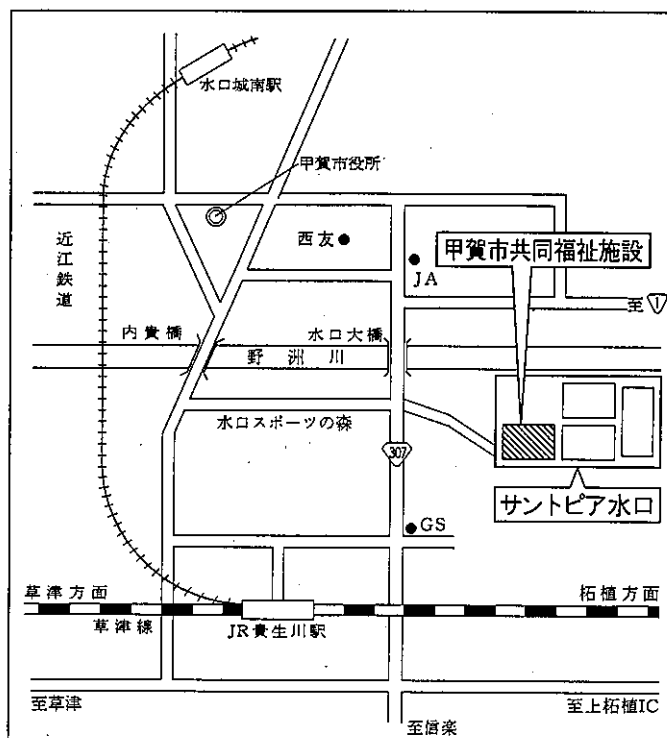


住所 伊賀市三田986-1
電話 0595-24-6078

検査場までの交通案内

- ・ JR 関西線 伊賀上野駅下車、徒歩1分
- ・ 伊賀鉄道 伊賀上野駅下車、徒歩1分

◎甲賀市共同福祉施設(サントピア水口内)

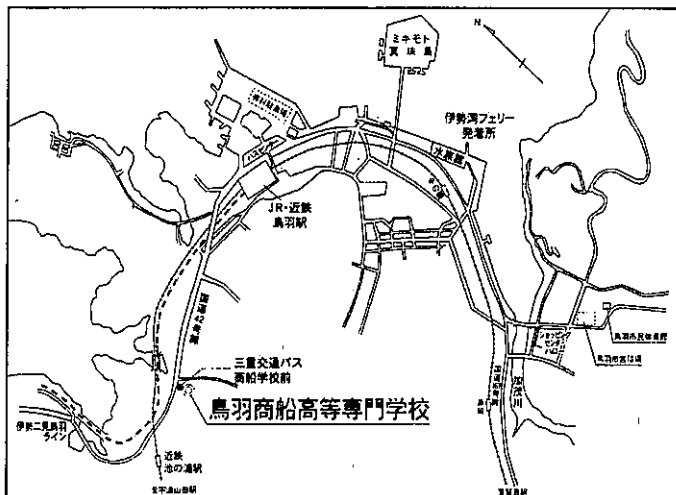


住所 滋賀県甲賀市水口町北内貴1-2
電話 0748-63-2953

検査場までの交通案内

- ・ JR 草津線 貴生川駅下車、徒歩約25分
- ・ 近江鉄道 水口城南駅下車、徒歩約20分

◎鳥羽商船高等専門学校



住所 鳥羽市池上町1-1

電話 0599-25-8404

検査場までの交通案内

- ・ J R 参宮線 鳥羽駅下車、タクシー5分
- ・ 近鉄鳥羽線 鳥羽駅下車、タクシー5分
- ・ 近鉄鳥羽線 池の浦駅下車、徒歩約10分

入学試験に関する問い合わせ、出願書類の請求先

独立行政法人 国立高等専門学校機構

鈴鹿工業高等専門学校

学生課 入試係

TEL 059-368-1739

FAX 368-1738

ホームページアドレス

<http://www.suzuka-ct.ac.jp>

〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町